

|     |  |
|-----|--|
| テーマ | AI を活用した子どもや家庭に関する潜在的リスクの早期発見およびアプローチ手法の確立 |
|-----|--|

### 1. 解決したい課題の内容について

貧困や虐待、ヤングケアラー等の諸問題の潜在的リスクをもつ子どもは数多く存在することが想定される。しかしながら、潜在的リスクを論理的に抽出する手法がなく、職員や専門家の知見に大きく依存している。

こうしたことから各種困難に直面するリスクを抱えた子どもや家庭に対して、早期発見によるアプローチ及び支援を行うための環境構築が必要である。

### 2. 実現したい目標について

リスク分析ツール等を活用し、職員等がデータに基づいた分析結果をもとにリスク保有者に対して有効なアプローチを行う。

またデータ収集のために、LINE で気軽に相談できる AI 心理士等（地域実情に見合ったもの）を開発し、相談内容を蓄積、保護者や職員等の負担軽減につなげる。

### 3. 必要とする技術について

ルール発見型推論や勾配ブースティング等の多様な手法を盛り込んだ AI 分析を想定するが、特にこだわらない。

### 4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

データ収集→AI データ分析→プッシュ型支援方法の検討・実施

### 5. 協力者、実証実験の場所等について

宇佐市役所等

### 6. 課題に関連する事業のホームページ URL